

参 考 資 料

目 次

(1) 発刊に寄せて.....	参-1
(2) 年表.....	参-8
(3) 利用者一覧.....	参-10
(4) 名簿.....	参-14
(5) アザメの瀬空撮写真.....	参-18
(6) アザメ新聞.....	参-28
(7) 新聞記事.....	参-117
(8) 公募・委託研究.....	参-119
(9) 学術論文集.....	参-120

久我 安隆 (アザメの会 理事長)

アザメの瀬の時代の流れと私

平成 23 年 3 月 9 日

おそらく一千年以上の歴史が判明しその眠りから目覚めようとするアザメの瀬自然開発が人々の知恵と力により約 10 年の歩みでよりよい美しい姿に変身されて来た。これを一重に官民一体となって努力して来た成果であります。地域の自然宝庫



として維持管理をして行くためには月 1 回の割合で検討会を重ね、平成 17 年 8 月の NPO アザメの会が発足、官民協働で自然再生事業の必要性の啓蒙、アザメ新聞の発行、小学生・大学生とのふれあいなど 100 回を有に超えたのであります。つまり現在の私達は過去から未来での橋渡しをする宿命にあり、これをまっとうする立場にあるわけで、すでにアザメの瀬は全国的にも有名になり、ちなみに平成 16 年 4 月には皇太子殿下が行啓訪問なされ歴史的な記念日となったのは今だに忘れる事はありません。また川のワークショップ大分県(別府大会)での発表成果は段突で俄然チャンピオンとなり、また平成 20 年 6 月には地域主体での事業推進が評価され、全国土木学会環境賞を受賞、更に平成 22 年 10 月には唐津市教育長よりアザメの会に感謝状を受与されたのはまだ記憶に新しいものがあります。この様に地域の自然・風土・環境については大昔から継承されて来た地元住民がその歴史には豊富であり、アザメの会は当初から住民参加を最優先に進められ現在に至っております。全国では「アザメの会」は代表的な存在にあり評価が高いのは事実であります。ひたすら前向きに頑張る事を念じて又私の思いのすべてをアザメに託して「人生いろ色、私はアザメで生まれアザメで育ちアザメで幕を閉じる」この強い信念に変わりはありません。

田口 正樹（唐津市立相知小学校 校長）

教員になって最初の赴任地は、アザメの瀬がある佐里小学校でした。あれから 20 有余年、校長となって戻ってきた相知小学校は、佐里小学校と統合しており、受け持っていた子どもたちが保護者となっていました。アザメの会の久我理事長は当時の保護者であり、お世話になった一人です。そんな関係もあり、アザメの瀬の再生事業に関する報道等も見ていましたので、アザメの会の方による各種事業にも子どもたちと違和感なく参加することができました。その事業の中で、



子どもたちは、川遊びの時に名人が投網で魚をとる様子を見たり、つつみ返して泥んこになって鯉を追いかけたりと、教室では味わえないような貴重な体験をすることができました。

特に、本校 5 年生は関わりが深く、総合的な学習の時間に「食・農未来安心プロジェクト」というテーマで、米作りに挑戦しました。田植え・草取り・稲刈りという一連の作業を行いました。アザメの会の方々のご支援は多大なものでした。「おんぶにだっこ」という表現があてはまるような取り組みで、学校としては、本当に申し訳なく思う次第です。しかし、アザメの会の方々より、「子どもたちの笑顔がみられるけん、気にせんでよか。」という言葉をいただき、毎年、甘えさせていただいています。

全校の子どもたちが、いつもうらやましそうな顔をして見ているのが、5 年生による収穫祭です。収穫祭では、アザメの瀬の学習田で収穫した餅米を、子どもたちの手でつき、丸めていきます。そして、アザメの会の方々や保護者の協力を得て、全校児童にできたての餅が配られます。その餅をおいしそうに食べている低学年の子どもたちは、「早く 5 年生になりたい。」とつぶやいています。アザメの瀬は、子どもたちにとって、そして、地域にとって貴重な宝物と言えます。これからも、郷土のよさを子どもたちに伝えていくために、アザメの瀬の有効活用を図っていきたいと考えます。

大草 秀幸 (元相知町長 アザメの会初代理事長) (現県立アバンセ館長)

アザメの瀬の記録に寄せて

日本における自然再生型公共事業に「アザメの瀬」が一番手で取り組み、武雄河川事務所、研究者、佐里・杉野地区の皆さんの主導で進めてきたことは、生態系と自然環境を守るために行動しようとする人たちへの道しるべとなるための間違いのない選択だったと思う。



松浦川中流域のアザメの瀬には肥沃な美田が広がっていた。自宅に近い岸辺の対岸アザメの瀬には自作の狭い畑があった。亡母は日暮れどきまで耕作し、四季の野菜を作っていた。少年のころ、岸辺の桑の木に赤紫の実が熟れると、麦わらで編んだ手かごに摘み取り、口を赤くして食べた。それらの田畑も頻繁に洪水に見舞われた。後年、民家のある左岸側には河川改修によって高い堤防が築かれ、アザメの瀬は遊水地となった。

アザメの瀬より2キロほど上流の伊万里市駒鳴地区には、流域の洪水対策としてショートカットが講じられていたが、その樋門は長年、開かずの樋門であった。アザメの瀬の地権者は建設省武雄工事事務所に右岸の河川改修を求めたが、費用対効果からすればとても認められる工事ではなく、かと言って全面買収をするほどの農地ではなかった。従って樋門は30年ほど閉じられたままだった。平成12年春、町長としてふるさとに佐里に帰ると、この懸案を解決させるという難題が待っていた。

建設省河川局に幾度となく足を運んだ。県選出国會議員の方々の支援があった。その結果、思いもしない全面買収が現実のことになった。町としてはアザメの瀬にスポーツ公園やオートキャンプ場などを思い描いたが、島谷幸宏・武雄河川事務所長(現九州大学大学院教授)から打ち明けられた計画は、スタートしたばかりの21世紀を見すえた「アザメの瀬自然再生事業」だった。そこに至るには、島谷さんの自然再生に懸ける思いと、島谷さんが師とも仰ぐ東京大学大学院農学生命科学研究科教授鷺谷いずみさんの存在が大きい。

鷺谷さんは当時の小泉内閣が掲げた21世紀「環の国づくり」会議の委員だった。平成13年、閣僚と10人の有識者委員で構成された会議は5回にわたったが、小泉総理同席の席上、鷺谷さんは次のように発言している。「子孫に恵み豊かな環境を引き継ぎ、自然と共生することが可能な社会を実現していくとの総理の考えを実現するために、日本の美しく豊かな自然をよみがえらせるための自然の再生修復のための事業、自然再生型公共事業を新しくつくっていただきたい」。さらに重ねて「自然共生型地域づくりは、都市と農山漁村が共生し、対流しながら実施されることが必要であり、さらに、地域住民、企業、研究者、行政等の幅広い国民的協働作業により推進していくことが望まれます」と。

同年12月9日に相知町で開催した河川環境再生シンポジウム『生態系を蘇らせるために』には、その鷺谷さんを講師に迎えることができた。ここから事業は大きく展開していった。佐里・杉野地区の皆さんの頑張りに感謝し、初代アザメの会会長の故山口直行さんのご冥福を祈りたい。

坂井 俊之（唐津市長）

市民協働の先駆的取組として

地域住民の皆さんとの話し合いをもとに創りあげられてきた「アザメの瀬自然再生事業」は、河川が持つ本来の機能に着目され、21世紀型の新しい公共事業として整備していただいたもので、NPO法人や地元自治会等との積極的な連携や活動支援は、唐津市が目指している「市民協働社会」の先駆的取り組みだと言えます。

また、相知小学校の子どもたちを中心とした「環境学習」や「自然体験」では、自然に触れることで命の大切さや生産の苦労を経験する貴重な機会をいただいています。

アザメの瀬がある「松浦川」中流域は、毎年のように洪水が発生していましたが、自然と共生することによって河川の氾濫も容認し、下流域への流量も抑制されるといった効果が見られるなど、新しい治水対策としても期待されています。

唐津市としては、こうした活動を側面から支えるためにNPO法人「アザメの会」や地元「佐里地区」「杉野地区」などと協力・連携しながら、拠点となる「自然環境学習センター」の管理はもとより、豊かな自然を次の世代を担う子どもたちに引き継いでいくための取り組みを、さらに進めていきたいと考えています。



中島 敦司（和歌山大学 システム工学部）

この度は、アザメの瀬の記録の発行、おめでとうございます。事業に関わった者として嬉しく思います。私は、アザメの瀬に関わる前から、いろいろな場所で自然の保全や再生の事業に関わっていましたが、あれほどの「大騒ぎ」は初めてでした。その「大騒ぎ」を前に、役所の姿も変わったものだなあと思い、その民主的な「大騒ぎ」は私に数々のコトを教えてくれました。中でも、当時のアザメの会の会長であった山口さんのお話しは、今でも私の心に残っています。「島谷さんに乗せられて首を突っ込むことになったが、まんまとやられた。だけど、やってみて分かったことだが、自然が再生されていくにつれ、みんなが元気になっていく。仲良くなる。自然再生って、実は人間再生、人間関係の再生なんだ。」です。この名言は、今でも参考になり、いろいろなところで紹介させてもらっています。なんのための自然再生か？、アザメの瀬は、その奥深さを私に教えてくれました。



東 和敬(佐賀大学 名誉教授)

アザメの瀬の自然再生事業は、住民参加による計画・立案・実施といったこれまでの手法と異なり、むしろ国側がサポートする形式であることを知り、大変興味をもたれた。そこで、私も何回かこの検討会に参加させてもらい、地域住民の活発な意見に感激した記憶がある。アザメの瀬が整備されてから、景観やトンボの種類を確認するために、時々訪れた。そのなかで、幾つかの気づいた点について、感想を述べることにする。



トンボの種類数や種多様性が、アザメの瀬が整備されと事によって、増加したかが興味の焦点である。前者については、報告書の図 4.1-18 から種類数が増加したことが記載されとおり、整備した効果が認められている。後者については、直接的に述べられていないが、表 4.1-12 から今後多様性（各種の個体数も考慮）が増すことが示唆される。

棚田の稲作については、稲を作るのは大変な作業であるが、収穫の喜びを経験させるのは大変有意義だと思われる。もともと、一昔まえまでは、稲作は溜め池とこれから水田に水を引く用水路それに水田が、一つのセットとなった農業生態系であった。その意味では、水田は言うまでもなく、それぞれの場所に生息・生育している動植物（優占種だけでも）につての知識を習得することも望まれる。

「堤返し」や「イダ嵐」の子供たちによる経験は、地元の方々の協力無しには実現出来ないことであるし、特に、採れた魚を味わうことは五感として残る経験であり、未永く残ることであろう。

上赤 博文（西九州大学 子ども学部）

私が 国土交通省が自然再生事業を行うと知ったのは2001年のことで、ホームページに概略が示してあったのを見たときだ。九州で2カ所、その1つが松浦川のアザメの瀬であった。正直な話、アザメの瀬ってどこ？何があるの？何ができるの？と思った。まだ自然再生推進法ができる前であり、自然再生という言葉自体が新鮮であった。中身が分かってくると、住民と行政が対等な立場で議論するアザメの瀬検討会の実施、著名な研究者によるシンポジウム、助成研究の募集など実に興味深い。自然再生は順応的に実施するのが基本であり、どのように事業が進み、モニタリングが行われるか注目している。国土交通省の調査研究とは別に、私自身も継続的に植物の調査を行っている。2007年までは生育している植物をデジタル画像で記録し、2007年3月に基本構造が完成して以降は風景の変化を記録している。事業の開始から10年が経過し、行政的には一段落との認識のようであるが、現在、アザメの瀬は急激に変化しつつある。氾濫原の再生が本当にうまくいっているかは、今後の10年を見る必要があると感じる。目指すものと出来つつあるものがうまくリンクしているか、これからのモニタリングが重要である。



中島 淳（福岡県保健環境研究所）

アザメの瀬とコオイムシ

コオイムシ *Appasus japonicus* は体長 20 ミリ程度の水生カメムシ類である。「コオイムシ」は漢字で書くと「子負い虫」であり、雄が卵を背中に載せ孵化するまで世話をするという習性はその名の由来である。本種はもともと平野部の水田地帯に普通に生息していたようだが、現在の九州の日本海側ではかなり希少な種類となってしまった。その理由として、本種の生息に適した環境が、宅地開発や近代的な水田整備によって減少したことが挙げられる。

ところが、アザメの瀬にはこのコオイムシが大変な密度で生息している。夏季にタモ網で採集していると、一すくいごとに何匹も何匹も網に入る。まさにコオイムシの楽園である。アザメの瀬は年間を通して水位の変動が激しく、不安定な水域である。しかし、そのような不安定な水域こそがコオイムシの本来の生息地なのだろう。本種の生息環境とされている水田やため池は、実は代替生息地であるにすぎない。本来本種が生息していたのは平野部の氾濫原湿地であり、それはまさにアザメの瀬であったのである。



西廣 淳（東京大学大学院 農学生命科学研究科）

私はアザメの瀬の事業から、大きく 2 つのことを学びました。一つは河川下流域の氾濫原の基本的な機能です。アザメの瀬は、出水のたびに土砂とともに様々な動植物を受入れ、育みます。この事業は、「下流域氾濫原の重要な機能は物質（栄養塩や動植物の散布体）を貯めることにある」ことを教えてくれました。

もう一つは、様々な方の意見を取り入れながら事業を進めていく「議論の仕方」です。メンバーを固定しない、配布資料を用意せず事後報告だけまとめる等など、「アザメ方式」とでも言うべきユニークな進め方が、ともすれば先祖伝来の農地を手放すという負のイメージがつきそうな事業を、最新のアイデアと伝統を活用して新たな価値を吹き込む明るい事業として進めることを可能にしたのだと思います。アザメの瀬の自然はこれからも変化するでしょうし、それに呼応して地元での議論や取り組みが進められるでしょう。アザメの瀬自然再生が、次の 10 年間に今度は何を教えてくれるか楽しみです。



尾澤 卓思(国土交通省 近畿地方整備局 河川部長)

アザメの瀬自然再生から学んだこと

アザメの瀬自然再生に携わり、大変貴重な経験ができた。自然再生は、自然を外形的に真似るのではなく、自然のシステムを知って戻すことであり、科学的なアプローチが重要である。このため、仮説と検証を繰り返し、生態系を学ぶことができた。

こうした中では、外来種の侵入など自然再生の難しさもよくわかった。時間と共に変化していく現地を見ながら、デザイン変更等の工夫をして失われた氾濫原を再生した。

自然再生は、自然の中で生息・生育する生き物のためだけではない。自然を再生するプロセスや再生された自然の恵みから地域の再生につながる。自然再生に関わる人々が生き生きと活動される姿は頼もしく、自然再生は地域の活性化に大いに貢献した。継続されることを願う。

自然再生を通じて人と自然のつながりの大切さを実証的に学ぶことができた。人は自然の中で生きており、活かされるものと思う。

最後にアザメの瀬の関係者の皆様に感謝します。皇太子殿下を皆様とお迎えしたことは終生忘れられない思い出です。



萱場 祐一 (独立行政法人 土木研究所 自然共生研究センター)

私は、2000年11月から1年間の予定で米国オハイオ州立大学に留学し、自然再生に必要な知識を習得する傍ら、米国各地の自然再生事業を見て廻りました。中でも、サクラメントリバーでの氾濫原再生は季節的な流況変化に着目しているだけでなく、地域住民や様々な分野の学者の参画により計画・設計・評価を行っていて、自然再生先進国としての米国を強く印象付けるものでした。

しかし、帰国後「アザメの瀬」の計画を知り、日本における取り組みを再認識することとなります。中流域における礫河原再生が当時の「流行」だった我が国において、下流域における氾濫原再生に着目し、事業として計画が進んでいたことは驚きでした。また、学者をテクニカルスタッフと位置付け、地域住民から構成される意志決定の場に学者がアドバイスを行う仕組み等は、私が米国で学んだ住民参加プロセスそのものであり、先進的な手法が独自に取り入れられていたのです。

アザメの瀬が辿った道程を体系的に評価することは、自然再生成功の鍵を知る手掛かりになるでしょう。本記録が日本における自然再生の先進性を示すだけでなく、今後の自然再生に活用されることを心より期待しています。



(2)年表

アザメの瀬自然再生事業の年表（「アザメの瀬の記録（仮称）」発刊まで）を掲載する。

年	事業関係	アザメの瀬検討会	イベント、その他事項
平成13年 (2001)		第1回～第3回検討会開催	12月9日 河川環境再生シンポジウム
平成14年 (2002)	8月22日 ジオスライサー調査実施 シードバンク調査 10月 表土はぎ着工 12月 一次掘削着工	第4回～第13回検討会開催 第1回～第2回代表者検討会	1月25、27日 現地見学会の開催 6月22、23日 自然再生事業シンポジウム 12月 アザメの会発足（第13回検討会）
平成15年 (2003)	3月 表土はぎ、一次掘削完成 6月 クリーク着工 11月 下池着工 12月9日 トレンチ調査実施	第14回～第25回検討会開催	2月～ アザメの会活動開始 4月21日 第1回アザメの瀬研究会開催 （公募研究者による意見交換） 6月29日 アザメの瀬出立式 10月12日 堤返し 10月25、26日 九州川のワークショップ
平成16年 (2004)	3月 クリーク完成 5月 下池完成 12月 上池、三日月湖、トンボ池 着工	第26回～第36回検討会開催	3月18日 アザメの瀬研究発表会 3月21日 イダ嵐見学会 4月24日 皇太子殿下アザメの瀬視察 5月29日 アザメの瀬シンポジウム開催 （応用生態工学主催） 7月10、11日 第7回川の日ワークショップ 8月20日 川遊び（アザメの会主催） 10月7日 シンポジウム開催 （日本環境アセスメント協会主催） 10月11日 堤返し 11月17日 総合学習（相知小学校）
平成17年 (2005)	3月 上池、三日月湖、トンボ池 完成 8月 柵田、トンボ池魚道、モニ タリング道路着工	第37回～第46回検討会開催	3月10、11日 平成16年度 アザメの瀬研究報告会 3月20日 イダ嵐見学会 6月10日 環境学習（相知小学校） 7月31日 遊びにおいてよ（アザメの会） 8月24日 アザメの会がNPO法人化 8月29日 アザメの瀬自然環境学習センター落成 式 10月2日 堤返し 10月28日 環境学習（相知小学校） 10月31日 環境学習（相知小学校）
平成18年 (2006)	3月 柵田、トンボ池魚道、モニ タリング道路完成 10月 棧橋、モニタリング道路（ 舗装）着工	第47回～第57回検討会開催	3月13、14日 平成17年度 アザメの瀬研究報告会 3月18日 アザメの瀬研究報告会 イダ嵐見学会 5月15日 柳の植樹、河川清掃 6月30日 環境学習（田植え） （相知小学校） 7月4日 環境学習（魚釣り） （相知小学校） 7月22、23日 第9回川の日ワークショップ 8月6日 遊びにおいてよ（アザメの会） 8月8日、24日 環境学習（田の草取り） （相知小学校） 10月8日 堤返し 10月12日 環境学習（魚釣り） （相知小学校） 10月28、29日 第6回九州川のワークショップ 参加 11月10日 環境学習（稲刈り） （相知小学校） 12月26日 学習センター大掃除及び セイタカアワダチソウ駆除活動

年	事業関係	アザメの瀬検討会	イベント、その他事項
平成19年 (2007)	3月 棧橋、モニタリング道路(舗装)完成 11月 河畔林植栽着工	第58回～第64回検討会開催	3月18日 イダ嵐見学会 6月29日 環境学習(田植え) (相知小学校) 8月17日 環境学習(魚捕り) (相知小学校) 8月19日 環境学習(田の草刈り) (相知小学校) 8月30日 環境学習(概要説明、魚捕り) (高校生実習) 9月21日 環境学習(魚捕り) (相知小学校) 10月4日 国際ワークショップ (九州大学主催) 10月14日 堤返し 11月6日 環境学習(農具) (相知小学校) 11月8日 環境学習(稲刈り) (相知小学校)
平成20年 (2008)	3月 河畔林植栽完成 (施設整備完了)	第65回～第74回検討会開催	6月27日 環境学習(田植え) (相知小学校) 8月4日 アザメの瀬自然環境教室 8月17日 環境学習(田の草刈り) (相知小学校) 10月10日 環境学習(魚捕り) (相知小学校) 11月7日 環境学習(稲刈り) (相知小学校) 11月8日 自然再生フォーラムinアザメ交流会 11月9日 堤返し 11月11日 田んぼの楽校(脱穀)
平成21年 (2009)		第75回～第88回検討会開催	6月11日 環境学習(相知小学校) 6月26日 環境学習(田植え) (相知小学校) 8月22日 アザメの瀬自然環境教室 8月23日 環境学習(田の草刈り) (相知小学校) 11月1日 堤返し 11月6日 環境学習(稲刈り) (相知小学校)
平成22年 (2010)		第89回～第90回検討会開催	3月18日 イダ嵐見学会 6月10日 環境学習(相知小学校) 6月25日 環境学習(田植え) (相知小学校) 8月21日 アザメの瀬自然環境教室 8月22日 環境学習(田の草取り及び水泳) (相知小学校) 8月23日 自然環境教室(唐津市鏡山地区) 10月30日 堤返し 11月5日 環境学習(稲刈り) (相知小学校)
平成23年 (2011)		第91回検討会開催	

(3)利用者一覧

【アザメの瀬検討会】

	月日	団体名または活動名	利用目的	人数	備考	
H13	2001/11/6	第1回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	2001/11/9	第2回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	2001/12/19	第3回アザメの瀬検討会	検討会	-		
H14	2002/2/1	第4回検討会	検討会	-		
	2002/2/15	第1回代表者検討会	検討会	-		
	2002/3/11	第2回代表者検討会	検討会	-		
	2002/4/13	第5回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	2002/7/16	第6回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	2002/8/20	第7回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	2002/8/26	第8回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	2002/9/11	第9回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	2002/9/27	第10回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	2002/10/30	第11回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	2002/11/12	第12回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	2002/12/2	第13回アザメの瀬検討会	検討会	-	アザメの会 発足	
	H15	2003/1/16	第14回アザメの瀬検討会	検討会	-	
		2003/2/4	第15回アザメの瀬検討会	検討会	-	
2003/2/13		第16回アザメの瀬検討会	検討会	-		
2003/3/27		第17回アザメの瀬検討会	検討会	-		
2003/5/8		第18回アザメの瀬検討会	検討会	-		
2003/6/5		第19回アザメの瀬検討会	検討会	-		
2003/7/9		第20回アザメの瀬検討会	検討会	-		
2003/8/5		第21回アザメの瀬検討会	検討会	-	水遊びを兼ねる	
2003/9/4		第22回アザメの瀬検討会	検討会	-		
2003/10/6		第23回アザメの瀬検討会	検討会	-		
2003/11/11		第24回アザメの瀬検討会	検討会	-		
2003/11/25		第25回アザメの瀬検討会	検討会	-		
H16		2004/1/9	第26回アザメの瀬検討会	検討会	-	
		2004/2/5	第27回アザメの瀬検討会	検討会	-	
	2004/3/2	第28回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	2004/4/14	第29回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	2004/5/27	第30回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	2004/6/24	第31回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	2004/7/22	第32回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	2004/8/26	第33回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	2004/9/29	第34回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	2004/10/28	第35回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	2004/11/25	第36回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	H17	2005/1/25	第37回アザメの瀬検討会	検討会	-	
		2005/2/24	第38回アザメの瀬検討会	検討会	-	
		2005/3/11	第39回アザメの瀬検討会	検討会	-	
2005/4/27		第40回アザメの瀬検討会	検討会	-		
2005/6/7		第41回アザメの瀬検討会	検討会	-		
2005/7/26		第42回アザメの瀬検討会	検討会	-		
2005/8/24		第43回アザメの瀬検討会	検討会	-		
2005/9/21		第44回アザメの瀬検討会	検討会	-		
2005/10/20		第45回アザメの瀬検討会	検討会	-		
2005/11/24		第46回アザメの瀬検討会	検討会	-		
H18		2006/1/17	第47回アザメの瀬検討会	検討会	-	
	2006/2/23	第48回アザメの瀬検討会	検討会	-		
	2006/3/14	第49回アザメの瀬検討会	検討会	-	現地見学会を兼ねる	
	2006/4/25	第50回アザメの瀬検討会	検討会	15人		
	2006/5/30	第51回アザメの瀬検討会	検討会	26人		
	2006/6/30	第52回アザメの瀬検討会	検討会	96人	環境学習(田植え)を実施	
	2006/8/30	第53回アザメの瀬検討会	検討会	12人		
	2006/10/8	第54回アザメの瀬検討会	検討会	72人	堤返しを実施	
	2006/10/30	第55回アザメの瀬検討会	検討会	18人		
	2006/12/8	第56回アザメの瀬検討会	検討会	14人		
	2006/12/26	第57回アザメの瀬検討会	検討会	11人		
H19	2007/1/31	第58回アザメの瀬検討会	検討会	12人		
	2007/2/28	第59回アザメの瀬検討会	検討会	18人		
	2007/3/18	第60回アザメの瀬検討会	検討会	35人	イダ嵐見学会を実施	
	2007/5/24	第61回アザメの瀬検討会	検討会	20人		
	2007/6/29	第62回アザメの瀬検討会	検討会	79人	環境学習(田植え)を実施	
	2007/10/14	第63回アザメの瀬検討会	検討会	69人	堤返しを実施	
	2007/11/8	第64回アザメの瀬検討会	検討会	74人	環境学習(稲刈り)を実施	
	H20	2008/1/31	第65回アザメの瀬検討会	検討会	7人	
2008/3/6		第66回アザメの瀬検討会	検討会	6人		
2008/4/10		第67回アザメの瀬検討会	検討会	5人		
2008/5/14		第68回アザメの瀬検討会	検討会	35人	行啓記念清掃を実施	
2008/6/27		第69回アザメの瀬検討会	検討会	100人	環境学習(田植え)を実施	
2008/10/20		第72回アザメの瀬検討会	検討会	27人	ワークショップ練習等を実施	
2008/10/27		第73回アザメの瀬検討会	検討会	26人	ワークショップ練習等を実施	
2008/11/7		第74回アザメの瀬検討会	検討会	70人	環境学習(稲刈り)を実施	
H21		2009/1/18	第75回アザメの瀬検討会	検討会	19人	
		2009/3/17	第76回アザメの瀬検討会	検討会	20人	イダ嵐見学会を実施
	2009/5/17	第77回アザメの瀬検討会	検討会	20人	ネイチャー佐賀との交流会を実施	
	2009/6/11	第78回アザメの瀬検討会	検討会	65人	環境学習を実施	
	2009/6/26	第80回アザメの瀬検討会	検討会	90人	環境学習(田植え)を実施	
	2009/8/23	第83回アザメの瀬検討会	検討会	60人	環境学習(田の稲刈り)を実施	
	2009/11/1	第84回アザメの瀬検討会	検討会	30人	堤返しを実施	
	2009/11/6	第85回アザメの瀬検討会	検討会	90人	環境学習(稲刈り)を実施	
	2009/11/16	第86回アザメの瀬検討会	検討会	25人	ワークショップリハーサルを実施	
	2009/11/19	第87回アザメの瀬検討会	検討会	25人	ワークショップリハーサルを実施	
H22	2010/4/9	第89回アザメの瀬検討会	検討会	30人	総会を実施	
	2010/12/2	第90回アザメの瀬検討会	検討会	23人	事業とりまとめ打ち合わせを実施	

【研修】

	月日	団体名または活動名	利用目的	人数	備考
H17	2005/5/31	H17 河川実地技術研修	研修	21人	
	2005/6/1	H17 河川実地技術研修	研修	21人	
	2005/8/30	一般技術研修	研修	20人	
	2005/10/25	景観・建設環境研修	研修	11人	
	2005/10/26	景観・建設環境研修	研修	11人	
H18	2006/5/30	H18 河川実地技術研修	研修	17人	
	2006/5/31	H18 河川実地技術研修	研修	17人	
	2006/9/5	一般技術研修	研修	40人	
	2006/10/25	H18 河川環境研修	研修	35人	
	2006/10/26	H18 河川環境研修	研修	35人	
H19	2007/5/29	H19 河川実地技術研修	研修	40人	
	2007/5/30	H19 河川実地技術研修	研修	40人	
	2007/10/24	H19 河川環境研修	研修	40人	
	2007/10/25	H19 河川環境研修	研修	40人	
H20	2008/5/27	H20 河川実地技術研修	研修	25人	
	2008/5/28	H20 河川実地技術研修	研修	25人	
	2008/7/11	唐津市立相知中学校1年生(社会科見学)	研修	96人	
	2008/8/6	リバーフロント整備センター研修準備	研修	3人	
	2008/8/7	リバーフロント整備センター研修	研修	32人	
	2008/10/29	H20 河川環境研修	研修	34人	
	2008/10/30	H20 河川環境研修	研修	34人	
	2009/10/20	九州技術事務所環境研修	研修	40人	
H22	2010/10/19	九州技術事務所環境研修	研修	40人	

【視察】

	月日	団体名または活動名	利用目的	人数	備考	
H14	2002/11/25	現地見学会(地域住民)	視察	44人		
	2002/11/27	現地見学会(地域住民)	視察	11人		
	2002/6/21	現地見学会(地域住民)	視察	-		
	2002/9/27	現地見学会(C・ゲルディ-氏)	視察	-		
	H15	2003/2/10	現場説明会(相知小学校)	視察	-	
H16	2004/4/24	皇太子殿下アザメの瀬視察	視察	-		
H17	2005/9/1	日韓海峡沿岸県市道環境技術交流会議	視察	15人		
	2005/9/9	大分川ダム工事事務所	視察	4人		
	2005/9/30	木室地区用排水路維持管理推進会(大川市)	視察	20人		
	2005/10/18	本明川子どもの水辺協議会	視察	20人		
	2005/10/19	韓国よりの視察	視察	5人		
	2005/10/31	長崎県諫早より視察	視察	30人		
	H18	2006/6/27	松浦川環境指標研究会	視察	17人	
		2006/7/31	子どもの水辺協議会(福岡県福岡市教育委員会)	視察	19人	
2006/8/4		福岡大学1年生	視察	120人		
2006/8/30		佐賀河川工務課	視察	4人		
2006/8/31		大阪府高槻市	視察	2人		
2006/9/5		北海道開発局	視察	3人		
2006/10/3		佐賀県協同組合女性連絡会	視察	10人		
2006/10/13		荒川上流河川事務所他	視察	17人		
2006/10/16		京浜河川事務所	視察	3人		
H19		2007/2/23	北九州市計画課	視察	15人	
	2007/7/25	国土交通省河川環境課	視察	1人		
	2007/8/8	国土交通省河川環境課、本局河川環境課	視察	3人		
	2007/9/20	雷山川を考える会	視察	6人		
	2007/10/4	国際ワークショップ(九州大学主催)	視察	40人		
	2007/10/23	東京大学齋谷先生	視察	3人		
	2007/11/14	長崎総合科学大学2年生	視察	40人		
	2007/11/21	菊池川流域連携会議、菊池川調査課	視察	15人		
	2007/12/13	環境担当者会議(国土交通省、九州地方整備局)	視察	20人		
	H20	2008/2/19	港湾空港部	視察	2人	
2008/3/24		九州電力取材	視察	10人		
2008/5/21		リバーフロント整備センター	視察	4人		
2008/9/22		3学会現地視察	視察	130人		
2008/9/26		長崎大学現地視察	視察	54人		
2008/9/27		遠賀川中島ワークショップ	視察	35人		
2008/11/12		福岡市環境審議会視察	視察	21人		
H21		2009/1/27	釧路湿原(北海道開発局)視察	視察	3人	
		2009/2/6	韓国よりの視察	視察	30人	
		2009/3/25	アザメ雑誌取材	視察	3人	
	2009/5/18	韓国よりの視察	視察	6人		
	2009/9/29	長崎大学現地視察	視察	52人		
	2009/11/10	福岡市環境部会	視察	30人		
H22	2009/11/25	平成21年度九州ブロック自然再生推進法担当者会議	視察	16人		
	2010/1/20	韓国よりの視察	視察	13人		
	2010/1/27	韓国よりの視察	視察	10人		
	2010/2/16	滋賀県視察	視察	2人		
	2010/2/17	内閣府視察	視察	2人		
	2010/2/25	国土交通省現地視察	視察	2人		
	2010/5/24	韓国 チョンヒ大学視察	視察	20人		
	2010/5/24	福岡放送「ズームインスーパー」取材	視察	6人		
	2010/6/5	(社)北九州緑化協会視察	視察	70人		
	2010/9/19	たんぼビオトープを作る会(福津市)	視察	20人		
	2010/9/22	長崎大学工学部社会学科	視察	60人		
	2010/10/14	伊佐市にごり防止協議会	視察	15人		
	2010/10/29	韓国 アニョン市役所視察	視察	5人		
	2010/12/2	NPO未来 アザメ視察	視察	18人		

【環境学習】

	月日	団体名または活動名	利用目的	人数	備考
H17	2005/6/10	唐津市立相知小学校4年生	環境学習	67人	
	2005/10/28	唐津市立相知小学校4年生	環境学習	67人	
	2005/10/28	長崎総合科学大学	環境学習	50人	
	2005/10/31	唐津市立相知小学校3年生	環境学習	50人	
H18	2006/6/30	唐津市立相知小学校5年生・アザメの会(田植え)	環境学習	96人	第52回検討会を兼ねる
	2006/7/4	唐津市立相知小学校4年生・アザメの会(魚捕り)	環境学習	60人	
	2006/8/8	唐津市立相知小学校5年生・アザメの会(田の草取り)	環境学習	40人	
	2006/8/24	唐津市立相知小学校5年生・アザメの会(田の草取り)	環境学習	40人	
	2006/10/12	唐津市立相知小学校4年生・アザメの会(魚捕り)	環境学習	30人	
	2006/11/10	唐津市立相知小学校5年生・アザメの会(稲刈り)	環境学習	93人	
H19	2007/6/29	唐津市立相知小学校5年生・アザメの会(田植え)	環境学習	79人	第62回検討会を兼ねる
	2007/8/17	唐津市立伊岐佐小学校3年生・アザメの会(魚捕り)	環境学習	21人	
	2007/8/19	唐津市立相知小学校4年生・アザメの会(他の草取り)	環境学習	71人	
	2007/8/30	高校生による実習(魚捕り)	環境学習	1人	
	2007/9/21	唐津市立相知小学校4年生・アザメの会(魚捕り)	環境学習	57人	
	2007/9/26	相知中学校 生物調査	環境学習	7人	
	2007/9/27	高校生による実習(魚捕り)	環境学習	2人	
	2007/10/23	中学生による実習	環境学習	4人	
	2007/11/6	唐津市立相知小学校5年生・アザメの会(農具についての説明会)	環境学習	70人	
	2007/11/8	唐津市立相知小学校5年生・アザメの会(稲刈り)	環境学習	74人	第64回検討会を兼ねる
	H20	2008/6/27	唐津市立相知小学校5年生・アザメの会(田植え)	環境学習	100人
2008/7/29		自然環境教室打ち合わせ	環境学習	7人	
2008/8/4		アザメの瀬自然環境教室	環境学習	41人	
2008/8/17		唐津市立相知小学校5年生・アザメの会(田の草取り)	環境学習	88人	
2008/10/10		唐津市立相知小学校4年生・アザメの会(魚捕り)	環境学習	63人	
2008/10/15		武雄市立武雄中学校2年生(植物・魚類の調査)	環境学習	4人	
2008/10/17		武雄市立武雄中学校2年生(植物・魚類の調査)	環境学習	4人	
2008/11/7		唐津市立相知小学校5年生・アザメの会(稲刈り)	環境学習	70人	第74回検討会を兼ねる
H21	2009/6/11	唐津市立相知小学校4年生・アザメの会	環境学習	65人	第78回検討会を兼ねる
	2009/6/26	唐津市立相知小学校5年生・アザメの会(田植え)	環境学習	90人	第80回検討会を兼ねる
	2009/8/22	アザメの瀬自然環境教室	環境学習	40人	第82回検討会を兼ねる
	2009/8/23	唐津市立相知小学校5年生・アザメの会(田の草取り)	環境学習	60人	第83回検討会を兼ねる
	2009/11/6	唐津市立相知小学校5年生・アザメの会(稲刈り)	環境学習	90人	第85回検討会を兼ねる
H22	2010/6/10	唐津市立相知小学校4年生・アザメの会(魚類等の調査)	環境学習	121人	
	2010/6/25	唐津市立相知小学校5年生・アザメの会(田植え)	環境学習	102人	
	2010/8/21	アザメの瀬自然環境教室	環境学習	69人	
	2010/8/22	唐津市立相知小学校5年生・アザメの会(田の草取り)	環境学習	79人	
	2010/8/23	唐津市鏡山地区 自然環境教室	環境学習	21人	
	2010/11/5	唐津市立相知小学校5年生・アザメの会(稲刈り)	環境学習	80人	

【アザメの会活動】 アザメの会は2002年12月に発足

月日	団体名または活動名	利用目的	人数	備考
H15	2003/3/9 イダ嵐見学会	アザメの会活動	-	
	2003/6/29 アザメの瀬出立式	アザメの会活動	-	
	2003/10/12 堤返し	アザメの会活動	-	
H16	2004/3/21 イダ嵐見学会	アザメの会活動	-	
	2004/8/20 川遊び	アザメの会活動	-	
	2004/10/11 堤返し	アザメの会活動	-	
H17	2005/3/20 イダ嵐見学会	アザメの会活動	-	
	2005/4/29 アザメの瀬清掃活動	アザメの会活動	20人	
	2005/7/31 遊びにおいでよ	アザメの会活動	30人	
	2005/8/29 アザメの瀬自然環境学習センター落成式	アザメの会活動	60人	
	2005/9/23 堤返し前の草刈	アザメの会活動	9人	
	2005/10/2 堤返し	アザメの会活動	86人	
H18	2006/3/12 アザメの瀬耕作地	アザメの会活動	9人	
	2006/3/14 アザメの瀬研究発表会 現地検討会	アザメの会活動	50人	
	2006/3/14 アザメの瀬現地見学会(地域住民、大学関係者、行政)	アザメの会活動	-	
	2006/3/18 イダ嵐見学会	アザメの会活動	30人	
	2006/5/15 行啓記念松浦川河川清掃と柳の植生	アザメの会活動	50人	
	2006/8/6 遊びにおいでよ	アザメの会活動	69人	
	2006/10/8 堤返し	アザメの会活動	72人	第54回検討会を兼ねる
H19	2007/3/18 イダ嵐見学会	アザメの会活動	35人	第60回検討会を兼ねる
	2007/4/30 行啓記念アザメの瀬自然再生事業内清掃	アザメの会活動	35人	
	2007/5/15 ため池稚鯉放流	アザメの会活動	4人	
	2007/10/14 堤返し	アザメの会活動	69人	第63回検討会を兼ねる
	2007/11/12 九州川のワークショップ発表練習	アザメの会活動	25人	
	2007/11/26 九州川のワークショップ発表練習	アザメの会活動	25人	
	2007/12/20 九州川のワークショップ報告会	アザメの会活動	16人	
H20	2008/1/27 行啓記念桜植樹	アザメの会活動	4人	
	2008/5/14 行啓記念アザメの瀬自然再生事業内清掃	アザメの会活動	35人	第68回アザメの瀬検討会を兼ねる
	2008/6/8 身近な水環境全国一斉調査	アザメの会活動	4人	
	2008/9/10 第70回アザメの瀬検討会	アザメの会活動	8人	ワークショップリハーサルを実施
	2008/10/2 第71回アザメの瀬検討会	アザメの会活動	8人	自然再生フォーラム打合せを実施
	2008/10/20 自然再生フォーラム打ち合わせ九州川のワークショップ発表練習	アザメの会活動	27人	第72回検討会を兼ねる
	2008/10/27 自然再生フォーラム打ち合わせ九州川のワークショップ発表練習	アザメの会活動	26人	第73回検討会を兼ねる
	2008/11/8 自然再生フォーラム in アザメ交流会	アザメの会活動	30人	
	2008/11/9 堤返し	アザメの会活動	64人	
	2008/11/11 田んぼの楽校	アザメの会活動	7人	
	2008/11/28 九州大学アザメの瀬 魚調査	アザメの会活動	16人	
H21	2009/3/17 イダ嵐見学会	アザメの会活動	20人	第76回検討会を兼ねる
	2009/5/17 ネイチャー佐賀との交流会	アザメの会活動	20人	第77回検討会を兼ねる
	2009/6/7 いい川全国一斉水質調査	アザメの会活動	5人	
	2009/6/18 ため池稚鯉放流	アザメの会活動	5人	
	2009/6/24 第79回アザメの瀬検討会	アザメの会活動	8人	自然環境教室打合せを実施
	2009/8/11 アザメの瀬清掃活動	アザメの会活動	5人	
	2009/8/17 第81回アザメの瀬検討会	アザメの会活動	8人	自然環境教室打合せを実施
	2009/11/1 堤返し	アザメの会活動	30人	第84回検討会を兼ねる
	2009/12/12 アザメの瀬清掃活動	アザメの会活動	20人	第88回検討会を兼ねる
H22	2010/3/18 イダ嵐見学会	アザメの会活動	-	
	2010/4/29 学習センター回り草刈	アザメの会活動	8人	
	2010/6/6 身近な水環境全国一斉調査	アザメの会活動	14人	
	2010/6/22 田んぼ周辺草刈	アザメの会活動	6人	
	2010/8/17 アザメ再生地内草刈	アザメの会活動	5人	
	2010/10/13 うるち米 稲刈	アザメの会活動	8人	
	2010/10/23 学習センター回り草刈	アザメの会活動	7人	
	2010/10/30 つつみ返し	アザメの会活動	93人	
	2010/11/4 川のワークショップリハーサル	アザメの会活動	34人	
	2010/11/10 川のワークショップリハーサル	アザメの会活動	25人	

【調査】

月日	団体名または活動名	利用目的	人数	備考
H14	2002/8/1 アザメの瀬 魚類調査	調査	-	
	2002/8/22 地層調査	調査	-	
H15	2003/12/9 アザメの瀬 トレンチ調査	調査	-	

【委員会】

月日	団体名または活動名	利用目的	人数	備考
H18	2006/4/18 第1回アザメの瀬副読本作成実行委員会	委員会	9人	小学校教諭、教育委員会他
	2006/6/1 第2回アザメの瀬副読本作成実行委員会	委員会	8人	小学校教諭、教育委員会他
	2006/6/29 第3回アザメの瀬副読本作成実行委員会	委員会	7人	小学校教諭、教育委員会他
	2006/8/29 第4回アザメの瀬副読本作成実行委員会	委員会	7人	小学校教諭、教育委員会他

(4)名簿

これまでにアザメの瀬に関わった地元、大学、職員、施工業者の方々を紹介する。

NPO法人 アザメの会 正会員・賛助会員(1/2)

名 前	所 属	名 前	所 属
有田 勝美	NPO法人 アザメの会 正会員	宮崎 文夫	NPO法人 アザメの会 正会員
梅崎 充茂	NPO法人 アザメの会 正会員	山口 愛之介	NPO法人 アザメの会 正会員
梅野 勝利	NPO法人 アザメの会 正会員	山口 耕一郎	NPO法人 アザメの会 正会員
梅野 保子	NPO法人 アザメの会 正会員	山口 義夫	NPO法人 アザメの会 正会員
江里 孝男	NPO法人 アザメの会 正会員	青木 賢治	NPO法人 アザメの会 賛助会員
江里 眞由美	NPO法人 アザメの会 正会員	青木 富士雄	NPO法人 アザメの会 賛助会員
大草 恒志	NPO法人 アザメの会 正会員	阿部 立海	NPO法人 アザメの会 賛助会員
大草 秀幸	NPO法人 アザメの会 正会員	井手 高博	NPO法人 アザメの会 賛助会員
大草 博美	NPO法人 アザメの会 正会員	井手 倫光	NPO法人 アザメの会 賛助会員
大草 正志	NPO法人 アザメの会 正会員	宇田 敏明	NPO法人 アザメの会 賛助会員
大草 幹夫	NPO法人 アザメの会 正会員	江崎 健二	NPO法人 アザメの会 賛助会員
大草 安幸	NPO法人 アザメの会 正会員	落合 秀雄	NPO法人 アザメの会 賛助会員
大霜 宏頼	NPO法人 アザメの会 正会員	大草 英治	NPO法人 アザメの会 賛助会員
大坪 國利	NPO法人 アザメの会 正会員	大草 幸一	NPO法人 アザメの会 賛助会員
梶山 茂	NPO法人 アザメの会 正会員	大草 重隆	NPO法人 アザメの会 賛助会員
柏 輝義	NPO法人 アザメの会 正会員	大草 スエ子	NPO法人 アザメの会 賛助会員
久我 安隆	NPO法人 アザメの会 会長	大草 東	NPO法人 アザメの会 賛助会員
古賀 高一	NPO法人 アザメの会 正会員	大草 ヒフミ	NPO法人 アザメの会 賛助会員
古賀 才治	NPO法人 アザメの会 正会員	大霜 久親	NPO法人 アザメの会 賛助会員
小松 繁喜	NPO法人 アザメの会 正会員	岡崎 實	NPO法人 アザメの会 賛助会員
小松 茂弘	NPO法人 アザメの会 正会員	熊谷 林子	NPO法人 アザメの会 賛助会員
坂井 宏	NPO法人 アザメの会 正会員	熊本 公子	NPO法人 アザメの会 賛助会員
曾我 利明	NPO法人 アザメの会 正会員	古賀 和宏	NPO法人 アザメの会 賛助会員
田中 智夫	NPO法人 アザメの会 正会員	古賀 昭一	NPO法人 アザメの会 賛助会員
塚本 大助	NPO法人 アザメの会 正会員	古賀 正弘	NPO法人 アザメの会 賛助会員
富田 満博	NPO法人 アザメの会 正会員	小副川 直	NPO法人 アザメの会 賛助会員
中島 敦司	NPO法人 アザメの会 正会員	近藤 健治	NPO法人 アザメの会 賛助会員
中武 友子	NPO法人 アザメの会 正会員	高橋 勇	NPO法人 アザメの会 賛助会員
仲光 茂子	NPO法人 アザメの会 正会員	多々良 久男	NPO法人 アザメの会 賛助会員
野崎 道夫	NPO法人 アザメの会 正会員	筒井 力	NPO法人 アザメの会 賛助会員
福池 隆廣	NPO法人 アザメの会 正会員	西原 賢治	NPO法人 アザメの会 賛助会員
松永 一博	NPO法人 アザメの会 正会員	野崎 和泉	NPO法人 アザメの会 賛助会員
松本 和弘	NPO法人 アザメの会 正会員	野崎 和博	NPO法人 アザメの会 賛助会員

行政機関（国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所）（1/2）

役 職	名 前	在籍期間
事務所長	島谷 幸宏	平成 13 年～平成 15 年
	尾澤 卓思	平成 15 年～平成 17 年
	中平 善伸	平成 18 年～平成 19 年
	田中 敬也	平成 20 年～平成 22 年
	村瀬 勝彦	平成 22 年～現在
技術副所長	奥園 政巳	平成 13 年
	木村 直紀	平成 14 年～平成 16 年
	後藤 信孝	平成 17 年
	森田 昭廣	平成 18 年～平成 20 年
	川野 晃	平成 20 年
	宮崎 寛章	平成 21 年～現在
建設専門官	湯浅 芳和	平成 13 年
	御船 勲	平成 14 年～平成 15 年
	泊 耕一	平成 16 年～平成 21 年
	穴井 利明	平成 22 年～現在
調査課 調査課長	泊 耕一	平成 13 年～平成 14 年
	廣松 洋一	平成 15 年～平成 17 年
	大野 良徳	平成 18 年～平成 19 年
	野村 真一	平成 20 年～平成 21 年
	佐藤 和幸	平成 22 年～現在
調査課 計画係長	甲斐 浩幸	平成 13 年
	中山 雅文	平成 13 年～平成 14 年
	工藤 雄一	平成 15 年～平成 16 年
調査課 専門員	今村 正史	平成 17 年～平成 19 年
	添田 昌史	平成 20 年～現在
調査課 担当	今村 正史	平成 13 年～平成 14 年
	高瀬 智	平成 14 年～平成 15 年
	今井 勝一	平成 13 年
	井上 哲博	平成 13 年～平成 14 年
	大塚 健司	平成 14 年～平成 15 年
	湊 康彦	平成 15 年
	新山 幸宏	平成 16 年～平成 17 年
	塩塚 大輔	平成 18 年～平成 20 年
	平野 礼	平成 21 年
	川原 輝久	平成 22 年～現在
地域交流窓口 専門調査員	宇佐美 湖	平成 14 年～平成 15 年
	塚本 義久	平成 16 年～平成 18 年

行政機関（国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所）(2/2)

役 職	名 前	在籍期間
地域交流窓口 専門調査員	四辻 雅孝	平成 19 年～平成 20 年
	小牟田 毅	平成 21 年～現在
	高橋 史哉	平成 14 年～平成 15 年
	南 知浩	平成 16 年～平成 17 年
	生田 俊裕	平成 18 年～平成 19 年
	山村 健志	平成 20 年～平成 21 年
	宮原 彰	平成 22 年～現在
工務課 工務課長	古賀 光政	平成 14 年～平成 15 年
	荒木 和幸	平成 16 年～平成 17 年
	野村 真一	平成 18 年～平成 19 年
工務課 工務第二係長	神崎 良久	平成 14 年
	保利 忠勝	平成 15 年～平成 17 年
	田中 一美	平成 18 年～平成 19 年
工務課 専門員	武富 光一	平成 19 年
工務課 担当	中島 秋一	平成 14 年～平成 16 年
	伊藤 博和	平成 17 年～平成 19 年
	有川 舞	平成 16 年～平成 17 年
松浦川出張所 出張所長	篠原 昌秀	平成 14 年～平成 15 年
	平井 新太郎	平成 16 年～平成 17 年
	堀江 隆一	平成 18 年～平成 19 年
	金子 努	平成 20 年～現在
松浦川出張所 技術係長	櫻井 祥貴	平成 14 年～平成 15 年
	関 信彰	平成 16 年～平成 17 年
	藤田 祥弘	平成 18 年～平成 19 年
	田本 陽一	平成 20 年～現在
牛津川出張所 出張所長	高場 紀好	平成 19 年
牛津川出張所 技術係長	伊藤 嘉徳	平成 19 年

敬称略 並びは所属部署・役職・在籍時期順

施工業者

会社名	会社名
神埼産業 株式会社	株式会社 戸川組
黒木建設 株式会社	石堂建設 株式会社
唐津土建工業 株式会社	将栄建設 株式会社（前：佐伯建設 株式会社）
株式会社 内山組	

施工業者の並びは、施工着手日順

(5) アザメの瀬空撮写真

斜め写真

平成 14 年



平成 15 年 5 月



斜め写真

平成 17 年 9 月



平成 20 年 3 月



斜め写真

平成 20 年 9 月



平成 21 年 9 月



斜め写真

平成 22 年 10 月

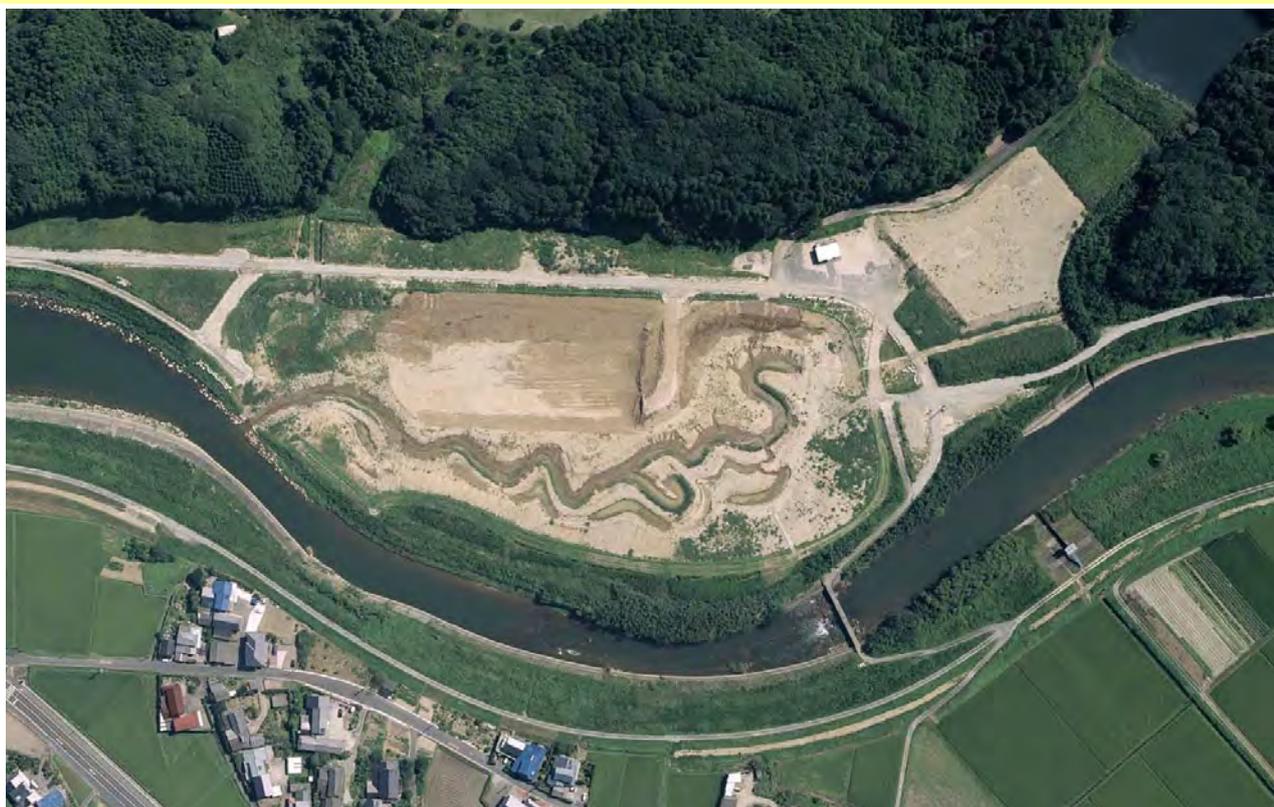


垂直写真

平成 14 年 9 月

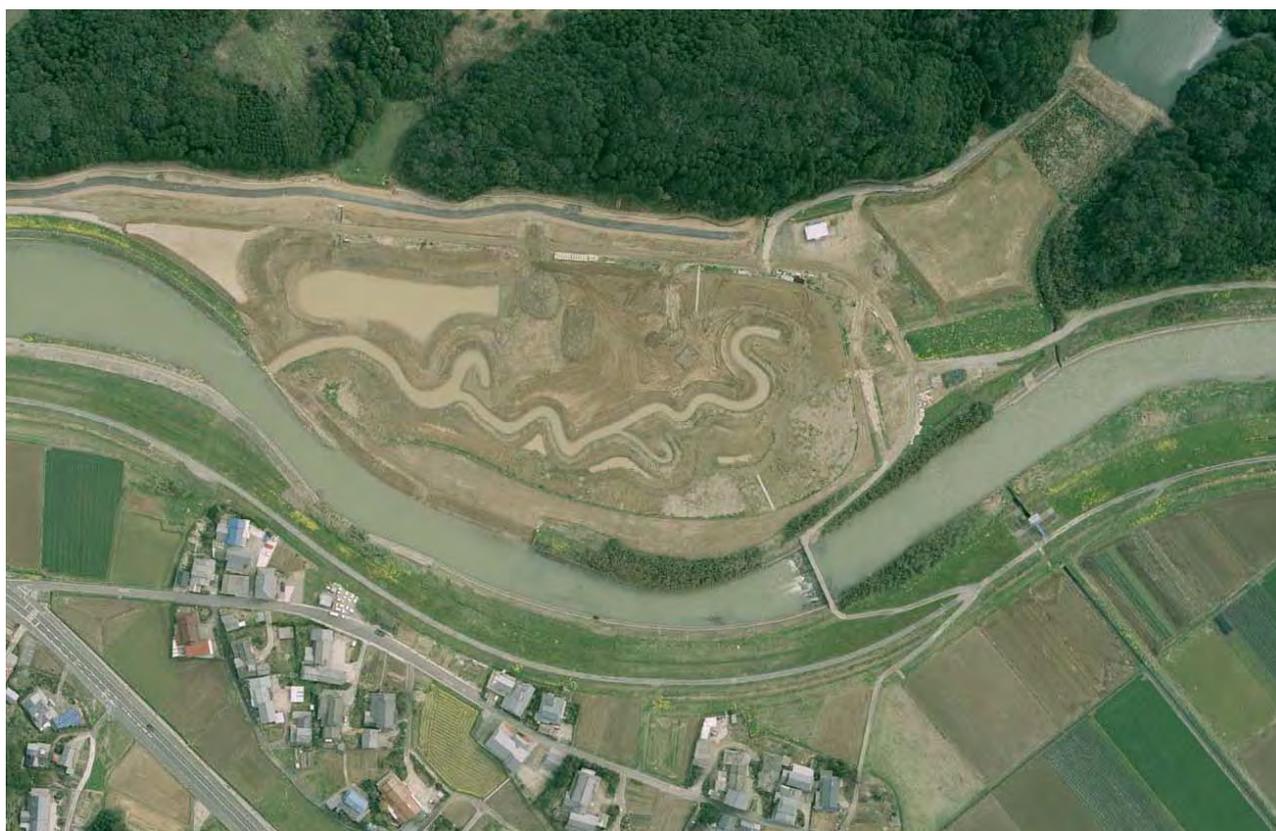


平成 15 年 9 月



垂直写真

平成 16 年 3 月



平成 16 年 11 月



垂直写真

平成 17 年 3 月



平成 18 年 3 月



垂直写真

平成 18 年 9 月



平成 19 年 9 月



垂直写真

平成 20 年 9 月



平成 21 年 9 月



垂直写真

平成 22 年 10 月

